

株主懇談会 資料



当社の概況について

平成21年6月26日

中央電気工業株式会社

目次

I. 経営理念	P 1 ~ 2
II. 主な事業の動向	
(1) マンガン合金鉄事業	P 3 ~ 7
(2) 環境事業	P 8 ~ 10
(3) 機能材料事業	P 11 ~ 12
III. 業績推移	
(1) 経常利益推移	P 13
(2) 当期純利益推移	P 14
(3) セグメント別業績推移	P 15
IV. 四つの経営方針	P 16
最後に	P 17

I . 経営理念

法令遵守と社会的モラルを尊重した

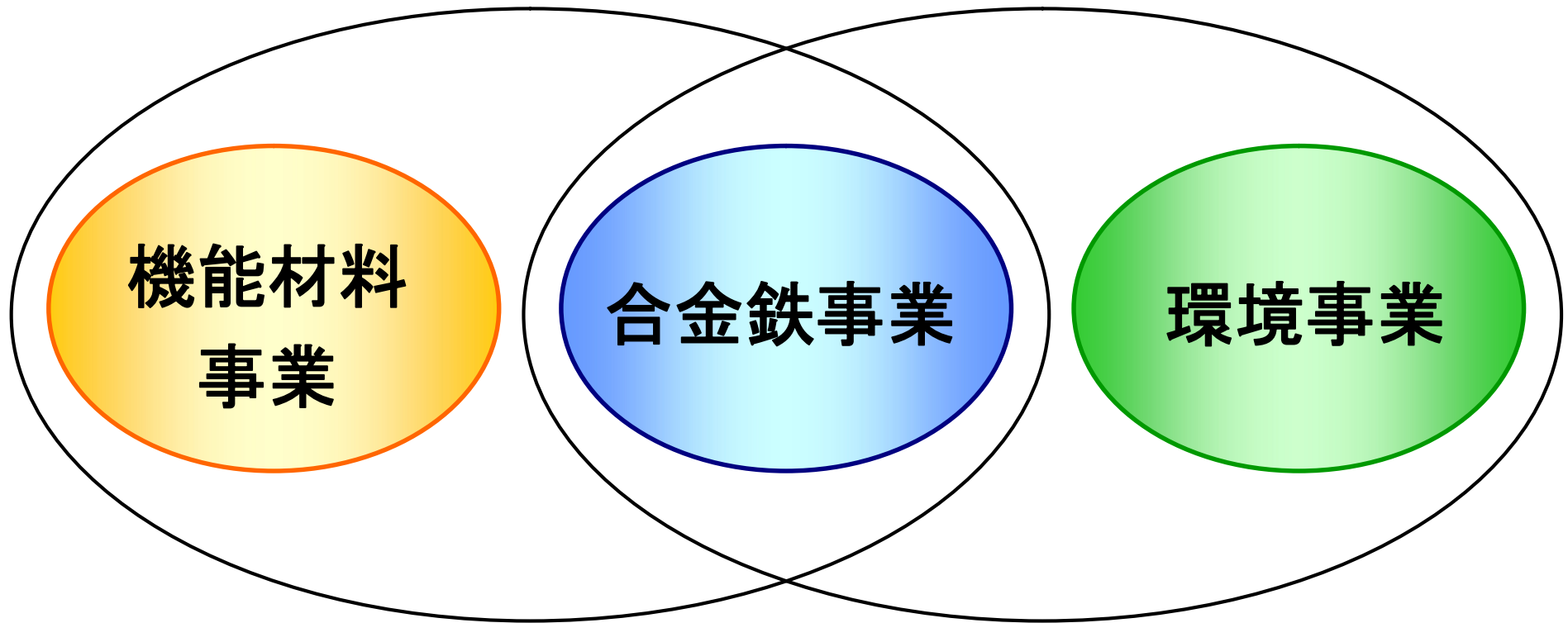
健全な事業活動を通じ

社会の繁栄に貢献するとともに、

ステークホルダーの皆様から

より信頼される企業を目指します。

< 当社の事業領域 >



Ⅱ. 主な事業の動向

(1) マンガン合金鉄（以下合金鉄）事業 ——鹿島工場——

①合金鉄は当社のコア事業。

“市況低迷時でも安定的な収益確保”が目標。

2006年の1号電気炉に続いて、
昨年、2号電気炉の大改修を実施。

需要増に対応した設備能力の最適化体制が整い、一層の安定稼働とコストの低減を目指す。

②需要動向

昨年秋までは、好調な粗鋼生産に支えられ、高水準な需要が続いたが、その後、鉄鋼大減産により需要は急減している。

③価格動向

昨年前半は高水準に推移したが、昨年秋以降、市況は大暴落。

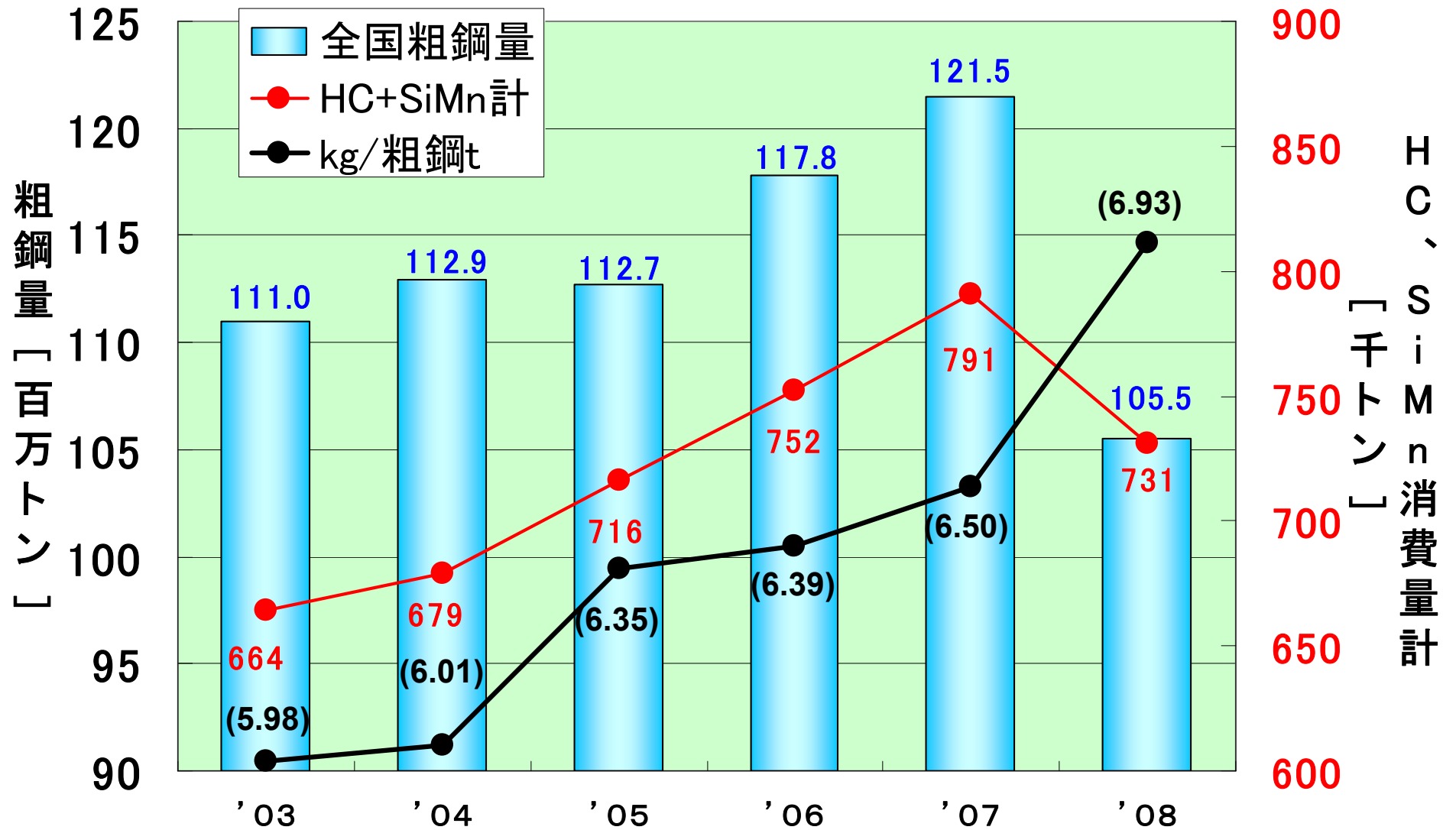
足下は昨年ピーク時の1/3程に。

一方、マンガン鉱石も昨年急騰。

1年を通じて高位で推移した。

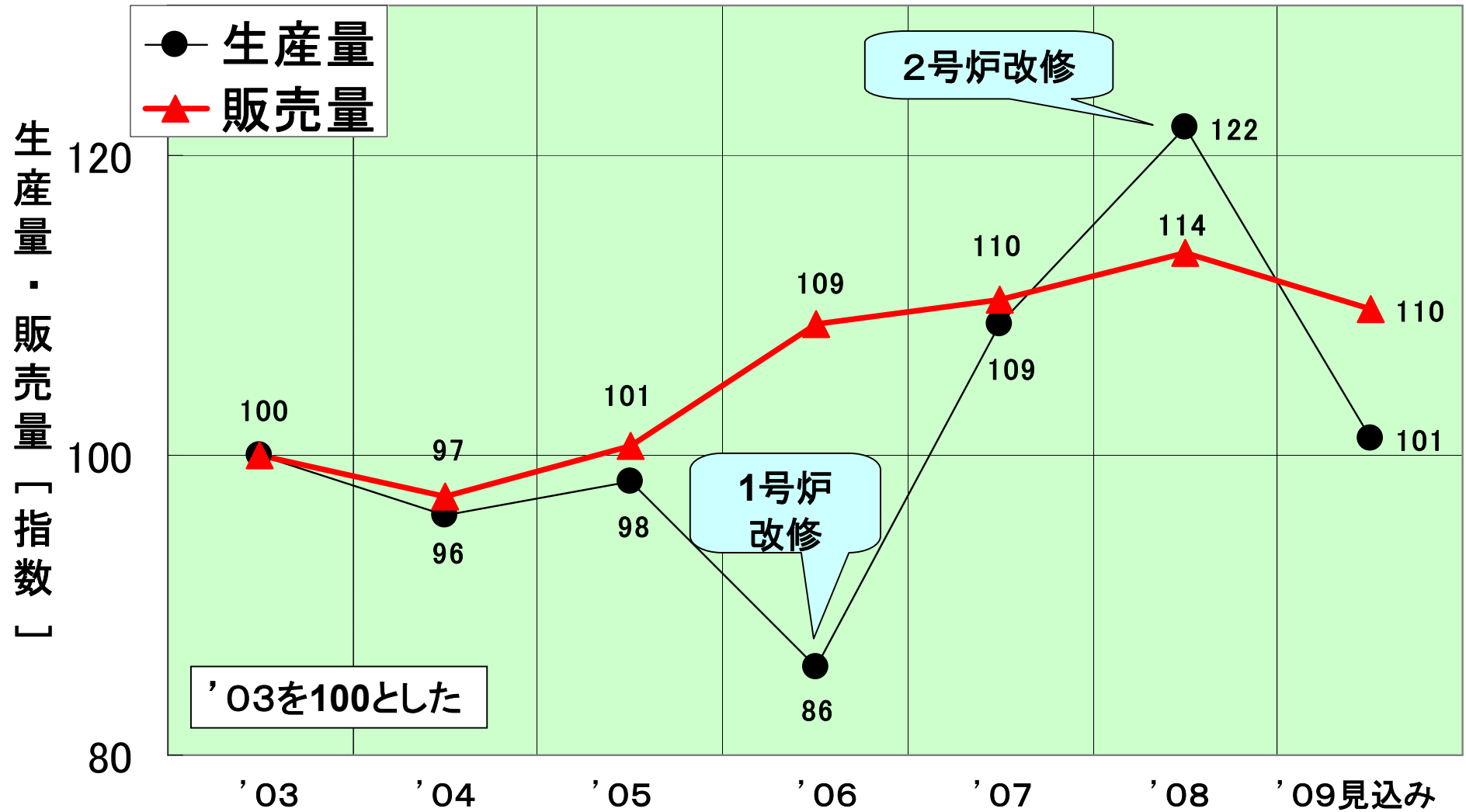
新年度に入り急落しているが、昨年の高値在庫を多く抱えており、コスト面で厳しい状況。

全国粗鋼量とHC+SiMn消費量

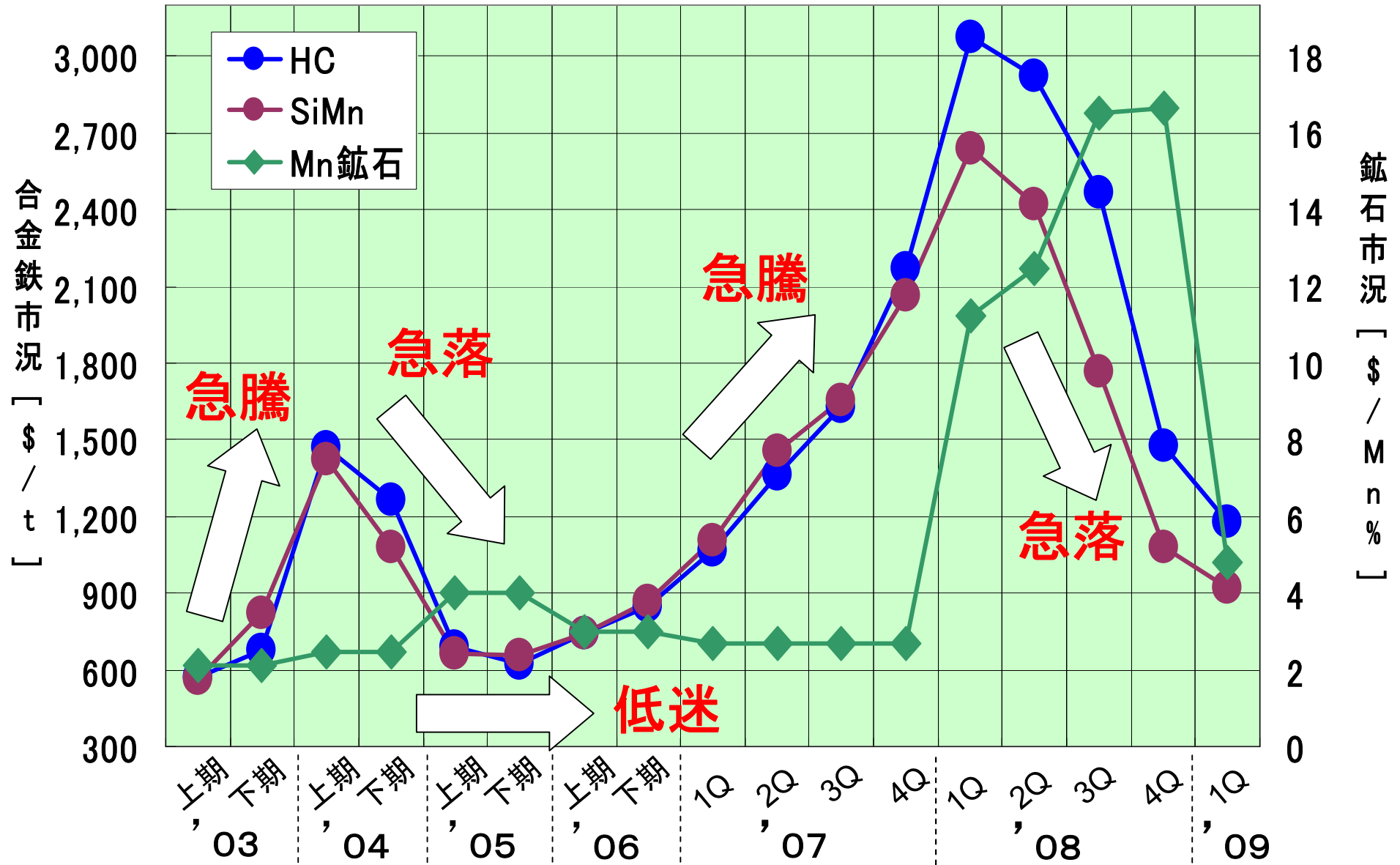


HCFeMnを以下HCと表す

当社の合金鉄生産量・販売量



合金鐵市況推移



(2) 環境事業

——鹿島工場——

- ①1995年 民間企業として日本で初めて
焼却灰溶融処理を開始。

一般廃棄物焼却灰や産業廃棄物燃え殻は、
社会的に年々その処理が困難に。

土壌や廃石綿の処理ニーズも高く、
当社の果たすべき役割は増大。

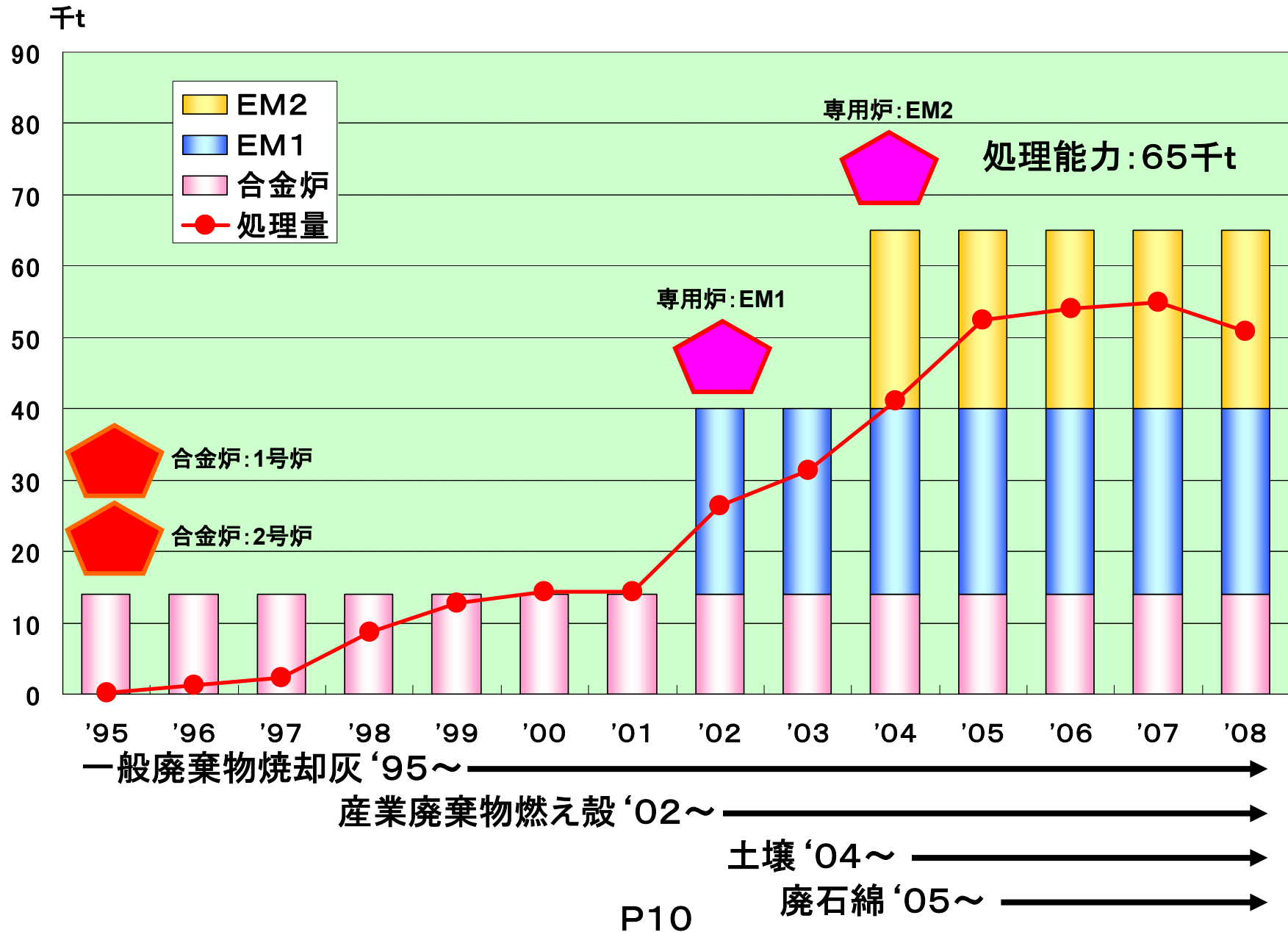
②当初、合金鉄炉活用でスタート後、
専用炉を建設。
『廃棄物溶融リサイクルセンター』に。

年間処理能力は合計6万5千トン。
2005年以降、年間約5万トンの処理を
安定的に継続。

今後、設備の諸改善と営業力強化を通じて
処理量の増大に努めて参ります。

社会貢献事業、誠実・堅実な運営。

環境事業(処理対象・施設・能力等)推移



(3) 機能材料事業 ——妙高工場——

主力は水素吸蔵合金。

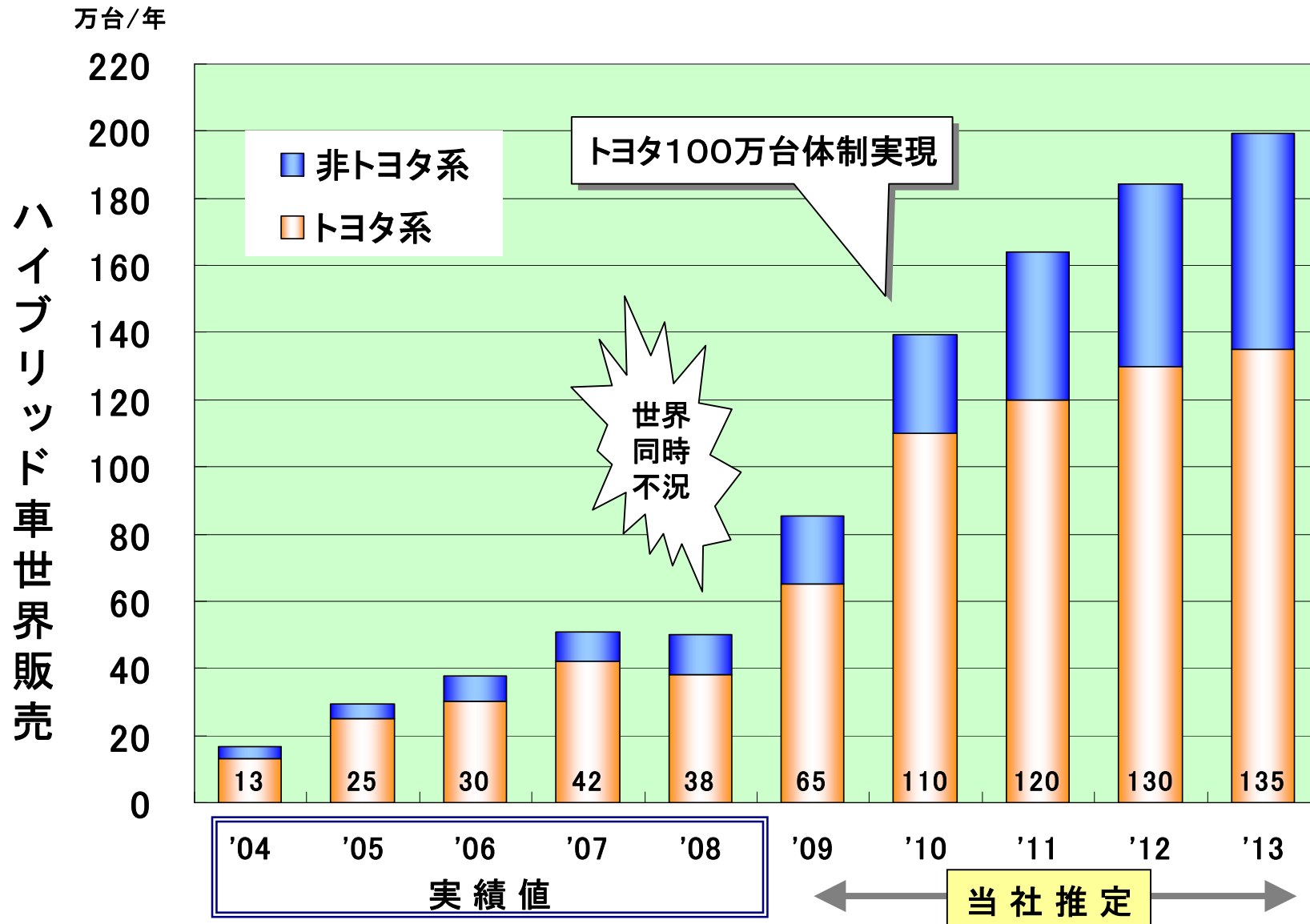
(以下『MH』、ニッケル水素電池の負極材料)

ハイブリッド自動車電池用の需要増加により、販売数量は増加。

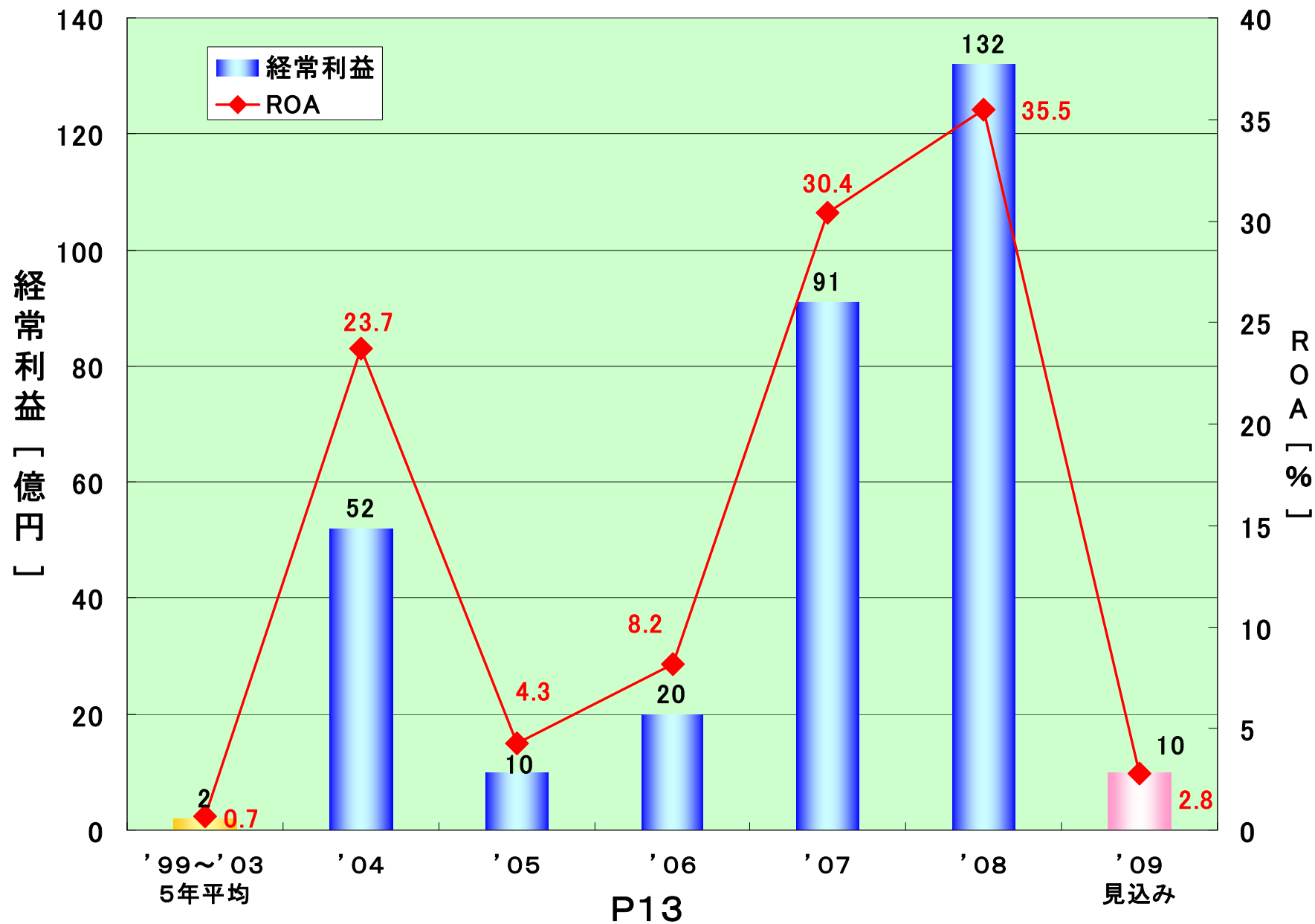
原材料価格変動の業績への影響を抑制するため、事業構造の改善(製品販売先からのNi、Co支給化)を進め、且つ、今後の需要増加に備え、昨年、設備の増強を実施。

昨年末からの自動車生産大減産の影響で、MH販売量は大きく落ち込んだが、先月から漸く回復の兆しが見えたところではあります。

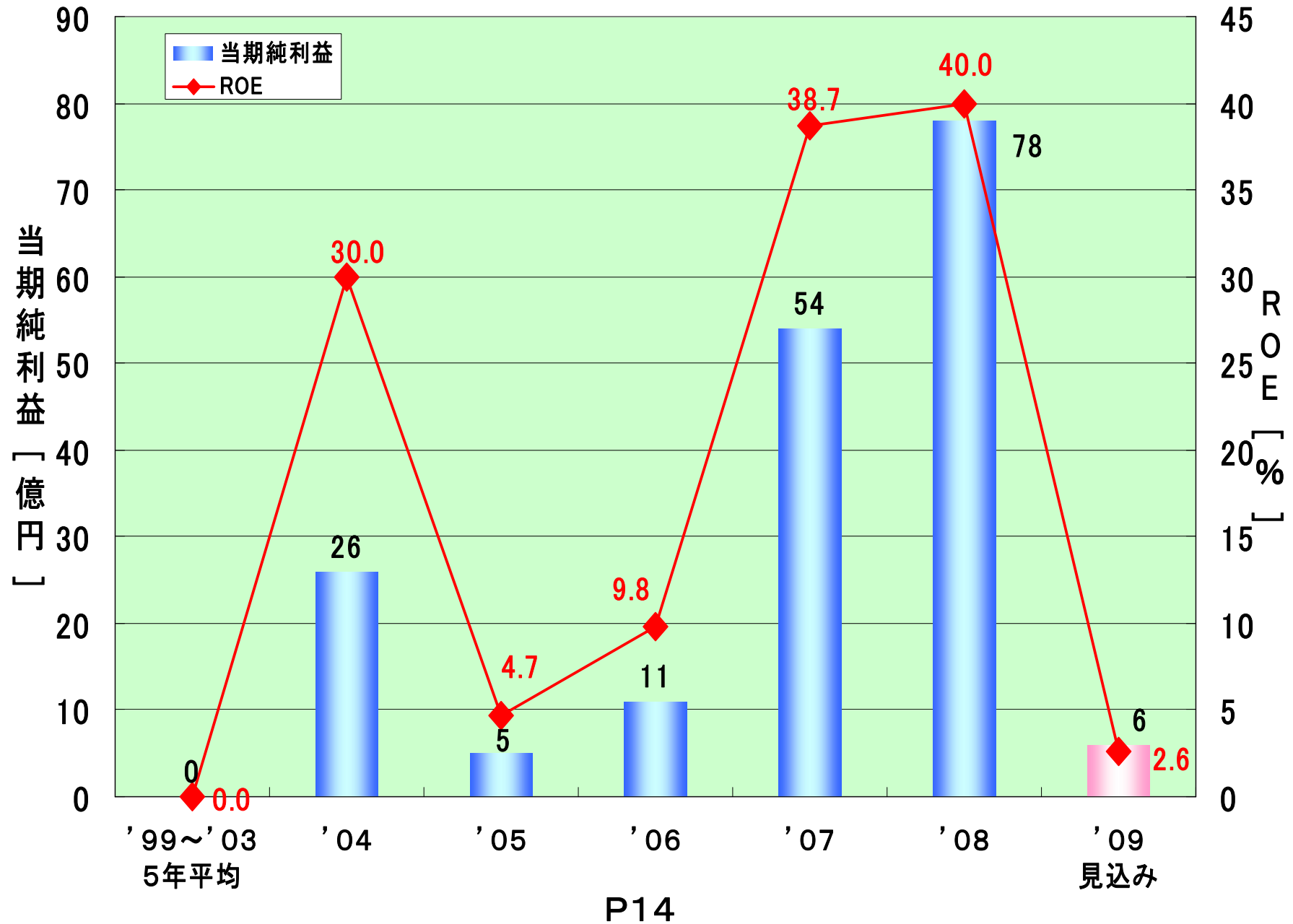
ハイブリッド車販売推移



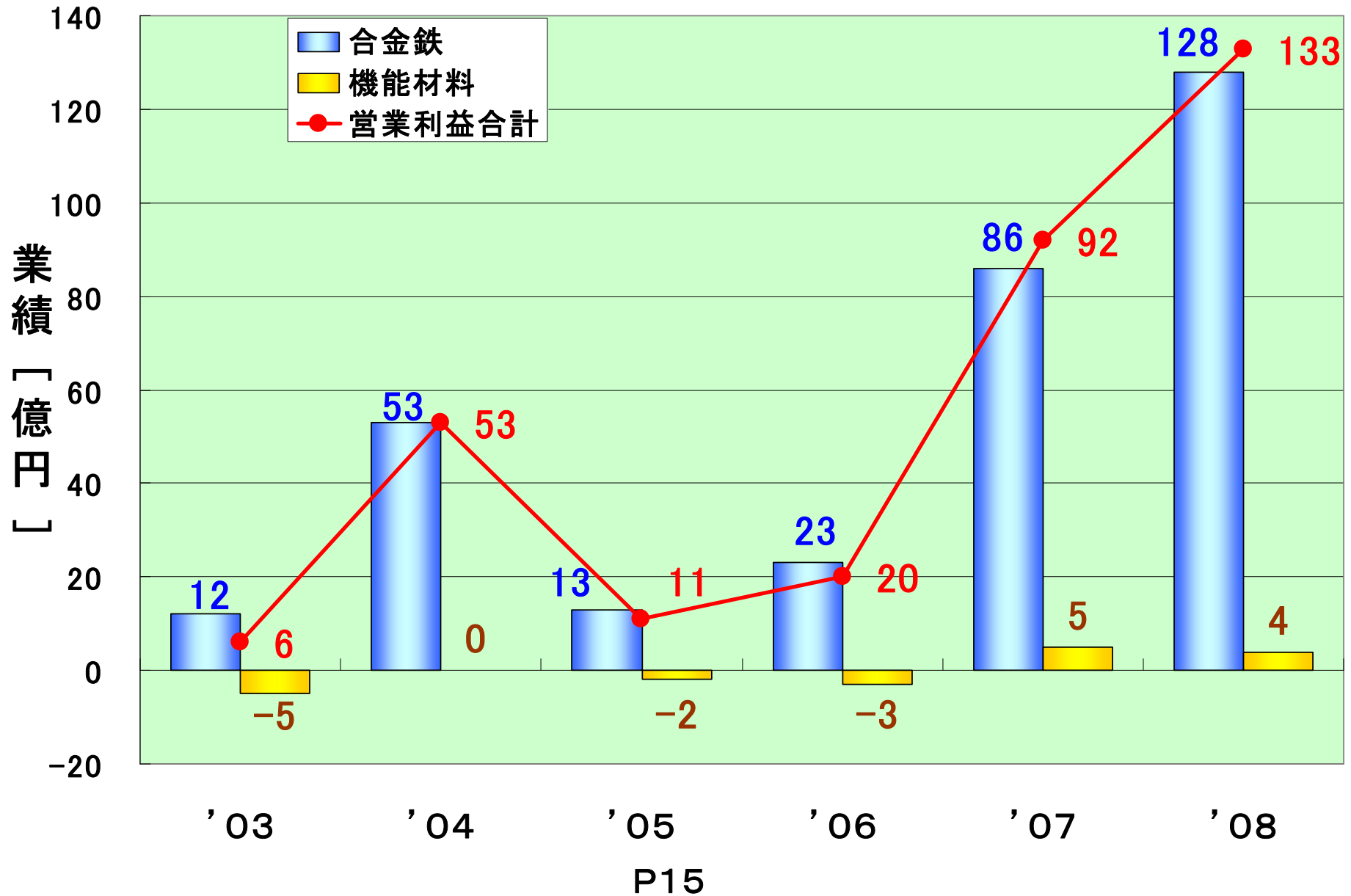
Ⅲ. 業績推移 (1) 経常利益推移



(2) 当期純利益推移



(3) セグメント別業績推移(営業利益)



IV. 4つの経営方針

(1)「小さくとも大きな存在感」

歴史ある中電の社員として誇りを持ち、利他精神で頼りとなる存在になろう

(2)「Lowest Cost Supplier」

他の追随を許さぬコスト競争力を、技術進化により勝ち取ろう

(3)「他社に勝つ商品・サービス」

開発指向の事業運営により、世界で勝てる独自の
商品・サービスを創造しよう

(4)「環境指向ビジネス」

次の世代のために、地球環境に貢献する事業の確立を目指そう

最後に

経営の透明性を高める為、
迅速な情報開示に努め、株主の皆様のご期待に沿えるよう取り進めて参ります。

【ホームページアドレス】
<http://www.chu-den.co.jp>

以上